

2026 年 2 月 2 日
新潟太陽誘電株式会社
東北電力株式会社

TAIYO YUDEN



**新潟太陽誘電株式会社によるオフサイト型コーポレート PPA サービスを
活用した CO₂ 排出量削減に向けた取り組みについて**

太陽誘電グループの新潟太陽誘電株式会社（本社：新潟県上越市、代表者：石山 正之、以下「新潟太陽誘電」と、東北電力株式会社（本店：宮城県仙台市、代表取締役社長 社長執行役員：石山 一弘、以下「東北電力」）は、オフサイト型コーポレート PPA サービス^{※1}（以下「本サービス」）を活用し、2026 年 2 月 1 日から新潟太陽誘電への再生可能エネルギー（以下「再エネ」）由来の電力供給を開始いたしました。

本サービスは、リープトンエナジー株式会社が開発した東北エリアの高圧太陽光発電所（計 3 地点：合計定格出力^{※2}3,115kW）で発電した再エネ由来の電力を、新潟県上越市の新潟太陽誘電に、小売電気事業者である東北電力が約 20 年間にわたって供給するものです。

太陽誘電グループは、気候変動への対応強化をマテリアリティとして設定し、SBT の Near-term targets 認定を受けた温室効果ガス（GHG）削減目標（Scope1+2：2030 年度 42%削減（2020 年度比）、Scope3（カテゴリ 1,3）：2030 年度 25%削減（2021 年度比））を掲げ、徹底した省エネ・創エネ・再エネに取り組んでいます。新潟太陽誘電にとっては、初のオフサイト型コーポレート PPA サービスの導入です。

東北電力は、お客さまの環境意識の高まりなどによるニーズの多様化を踏まえ、再エネ由来のコーポレート PPA をはじめとするさまざまな「グリーンエネルギーソリューション」を組み合わせた最適なサービス提供を通じて、お客さまの CO₂ 排出量削減に取り組むとともに、地域社会のカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

※1 小売電気事業者である東北電力が、需要家の敷地外にある太陽光発電所等を所有する発電事業者から再エネ由来の電力を購入し、一般送配電事業者の系統ネットワークを介して需要家に販売するサービス。

※2 定格出力とは、発電設備が安定して出力できる電力を指す。

以上

（別紙）オフサイト型コーポレート PPA サービスを活用した電力供給の全体像

【報道機関からのお問い合わせ先】

新潟太陽誘電株式会社 内部統制係
東北電力株式会社 地域共創・広報ユニット

Tel 025 (545) 2511
Tel 022 (799) 1231